た道のりを振り返り、これから歩ができました。これまで歩んでき立い間年という節目を迎えること立り間にいるできない。これまで歩んできない。

のために存在するのか」、存在意のためには「自分たちの組織は何が、50周年の意義であります。そ

いかなければなりません。

50

周年

んでいくべき方向を見定めること

会員ホテ いう業態をつくり上げた先人の知代に新たに「ビジネスホテル」と

第3種郵便物認可

清水嗣能会長

ていただきます。

支援し、力強くダイナミさせていくための活動を それぞれに新しい物語を ックに取り組んでまい つむぎ、その価値を向上

個性豊かな会員ホテルが 発信でき、 などの観点 め』の組織会長は「『 **準**

恵義などを 、人材が育成しやすい環境整備」助会員の別なく、誰もが意見を織を目指すこと」を掲げ、「正『世のため、人のため、国のた『世の令和4年度通常総会。清水



従業員の皆さま、

連盟 **(7)** めざす姿

さらに、私たちは創立50周年を

しい1ページを刻むため

ます。「自分たちのため、だけでであるという意味が込められてい

者たウめ年そ長

して観光立国実現を

れらを包含するホテル業の集まり

県・松本市と福井市にお

名称変更と具体的活動

sion、Vision、Valに、新たに「MVV+S(Mis べき姿について自己探求するため 私たち連盟のMission、 この50周年を契機に連盟のある e、Statement)」を ネスホテル協会が、シティホテルは、連盟の前身である全日本ビジをもって」という言葉を入れたの 与する。 ルの価値向上を支援すると共に、 や都市旅館しかなかったような時 観光立国の実現と地域の発展に寄 」としました。 「革新性 日本ホテル連盟(ANHA)」へ CHA)」から「一般社団法人全 と名称を変更しました。 法人全日本シティホテル連盟 昨年4月1日付で「一般社団

策定いたしました。

すなわち使命は「時代のニーズを

捉え、革新性をもって、

役に立つものであり、当連盟はそ 業としての生業そのものが社会の 業態枠に捉われることなく、 ルやビジネスホテルという小さな この名称変更には、 、シティホテ

盟としての大きな前進でありま

在意義である」と明確に示したこ 域への貢献こそが自分のたちの存 はなく、ホテル業を通した国や地

この50周年を契機とした連

示て

まいりました国会議員の当連盟のご指導を賜って 末筆ながら、これまで 感謝と決

本法 増大がインキュベーターとなって は高度経済成長に伴う宿泊需要の 導くために、その前年に「観光基 催された、当時最大の国策であっ ル協会」が誕生しました。背景と た東京オリンピック大会を成功に 11月15日に「全日本ビジネスホテ が制定されたこと、さらに 64年(昭和39年)10月に開 年(昭和46年)

潔・安全・気軽なホテルが建設さ れ始めたころで、これに時代の ティホテル連盟(JCHA)」と その後、バブル期を経てさらな称に使った協会を設立しました。 成4年)に会の名称を「全日本シ加していったことから、92年(平 る生活の高度化や多様化を背景に 長で国際観光施設協会の会長であ 趨勢を見た元運輸省観光部整備課 宿泊単機能でない会員ホテルも増 れていた「ビジネスホテル」を名 志が集まり、和製英語として使わ った重松敦雄氏の提言のもと、 しました。 バブル期を経てさらな

ベーターという人づくりに取り組ますと、そこにはこの連盟がイノ むことで「観光立国の実現を通り あるMVV+Sを見つめ直してみ くる活動であります。 連盟の存在意義である」というゞ 「人づくりによる、国づくり」です。 て、社会貢献を果たすことこそが 改めて自分たちの作った理念で ージが見えてきます。つまり

ターになる。 昇華した思

いました。当時、各地で低廉・清

したかったからにほかなりませ恵や気概を私たち連盟のDNAと

ち寄せる中にありながら、それ以上に大きく変わり、より大きな役割を国、地域、

磨史副会長(長野県・ホテルニューステーション)、関係各位のコメントから色濃く

して会員ホテルに対して果たそうとする同連盟の現在と今後の姿が、清水会長や小林

なる進化を遂げようとしている。コロナ禍で国内のホテル業界に大きな変革の波が打 t)を策定。会員ホテルへの裨益に加え、観光立国と地域貢献のための組織へとさら

方針「MVVS」

かつ明確に見えてきた。

連盟

・宿泊業界において重要な役割を果たしてきた。コロナ禍を経て、今後の方針を模索業態の多様化に呼応しながらさまざまな活動を行い、組織名の改称を経て、観光業界

時代や宿泊ニーズの変化、会員数の増加や会員施設の

1年11月15日に誕生した「全は創立50周年を迎えた。高度

日本ビジネスホテル協会」は、

経済成長期に増加した国内の宿泊需要を担うべく197

2021年11月15日、全日本ホテル連盟(ANHA)は創立50周年を迎えた。

する中、同連盟は清水嗣能会長(福井県・ホテルリバージュアケボノ)を中心に活動

(Mission, Vision, Value, Stateme

というStatementに表現いを「新しい物語を、ホテルから。」 起こすイノベー しました。これは連盟の未来をつ これからめざすべき方向性を示 「会員ホテルの成長と挑戦を促そしてVisionに掲げる これらを凝縮し、 日本および地域に新たな風を

組織図 最高顧問 業務執行理事会 会 副会長 会づくり 国づくり 人づくり 宿づくり 地域活性化 インバウンド 広報 総務 青年部 調査研究 経営情報

連盟の名称を「一般社団 「社団法人全日本シ 全日本ビジネスホテル 一般社団法人 全日本ビジネスホテル ● 法人全日本ホテル連盟」 ♥ ティホテル連盟」に ● 厚生年金基金が発足する **●** に移行する 協会として11月15日に 日 に変更。11月15日に創立 名称を変更する 次世代経営者を対象に 創立する 本ホテ 50周年を迎える 「青年塾」を開講する 2007年 1992年 1986年 2021年 2013年 1971年 連盟 2019年 2017年 2005年 1974年 2022年 1991年 1981年 「国づくり」「会づくり」「人づ の ▲創立50周年 キャッチコピー「泊ま 社団法人の資格を取得 くり」「宿づくり」に基づく委員 歩 式典を開催 りたい、そんなホテル 創立20周年記念大 創立10周年を迎え記念式典を し、社団法人全日本ビ 会、支部活動を開始する する に出合えます」とロゴ 「記念誌10年の歩み」 ジネスホテル協会とし 会を開催する 外国人特定技能在留資格の マークを作成する て10月4日に発足する を発行する 宿泊技能試験を実施する



東京都知事 小池百合子氏

全日本ホテル連盟が創立50周年を迎えられましたことを、心からお 慶び申し上げます。

貴連盟が、長きにわたり、良質な宿泊サービスの提供や地域の発展

に尽力してこられたことに深く敬意を示します。 これまでの新型コロナウイルス感染症対策への多大なご尽力に感謝 いたします。このコロナ禍は、社会に大きな変化をもたらしました。 加えて、気候変動やエネルギー危機、さらにはデジタル化の進展など、 時代は急激に変わろうとしています。世界の動きは極めて早く、国際 競争は一層熾烈さを増しています。

変化への迅速な対応が、東京と日本の持続可能な成長につながりま す。そして、日本が世界から選ばれ続ける旅行地になるためには、地 域観光の拠点であり、旅の思い出として心に残るホテルの役割がます ます重要なものになります。

東京都も皆さまと手を携え、観光立国日本としての礎を築いていけ るよう、日本各地と連携した魅力の発信や、誰もが快適に旅行を楽し める環境の整備を推し進めてまいります。

結びに、会員の皆さま方のご健勝と、全日本ホテル連盟の今後のま すますのご発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせてい ただきます。



観光庁長官 和田浩一氏

全日本ホテル連盟が創立50周年を迎えられましたことに、まずお祝 いを申し上げます。

50周年を迎えるに当たり、「時代のニーズを捉え、革新性をもって、 会員ホテルの価値向上を支援すると共に、観光立国の実現と地域の発 展に寄与する。」とミッションを策定されたことに、心から敬意を表 したいと思います。

さて、本年で発足14周年となりますわが観光庁は、観光立国の実現 に向け、政府を挙げた施策を強力に推進することを目的として発足し ましたが、この間、リーマンショック、東日本大震災など、国内外の 大きな困難に直面し、観光関連産業の皆さまと乗り越えてまいりまし

今般、新型コロナウイルス感染症のため、国際的な移動はもちろん、 国内の移動も大きく制限されるなど、前例のない困難な状況に直面す ることとなりましたが、今こそ、ホテルの業態を新たに創りあげた全

日本ホテル連盟が、革新性を発揮されるときです。 果たすべき使命として掲げる、「長期的展望に立って、人が訪れた くなるような地域づくり、泊まりたくなるようなホテルづくり」を、 会員ホテルの皆さまとぜひ実現していただきたい。皆さまとコロナ禍 を乗り越え、次の50年に向けて、ともに力強く歩んでいきたいと考え ております。

(連盟創立50周年記 念誌より引用、転載)

本

ホ

テ

連

周

年